

揭秘

NULPT

根据2010最新考纲编写

新 日本语能力测试

主审／谷口惠（日）

主编／李振东

附赠《N2读解考点词汇、文法分频分类记忆手册》

佳禾外语
JIAHEWAIYU

读解

新試験完全対応！

- 考点分频排序，科学布局由重及轻。
- 主题领域划分，解题技巧各个击破。
- 重点词汇、文法总结，点睛考点尽在掌握。
- 考试动向，通关要诀。



外文出版社
FOREIGN LANGUAGES PRESS

揭秘

NULPT

新日本语能力测试

主审／谷口惠（日）

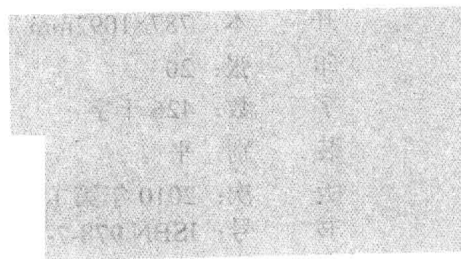
主编／李振东

副主编／孙文选 梁晓冬

编委／李胜男 盛娟 开颜 黄璟 余卡卡 刘阳 隋茜

佳禾外语 JIAHEWAIYU

NE 读



外文出版社 FOREIGN LANGUAGES PRESS

图书在版编目(CIP)数据

揭秘新日本语能力测试 N2 读解 / 李振东主编.

北京: 外文出版社, 2010

ISBN 978-7-119-06346-1

I. ①揭… II. ①李… III. ①日语—阅读教学—水平考试—自学参考资料
IV. ①H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2010)第 052244 号

责任编辑: 刘承忠 李 黎

装帧设计: 佳禾书装

印刷监制: 张国祥

揭秘新日本语能力测试 N2 读解

主 编: 李振东

©2010 外文出版社

出版发行: 外文出版社

地址: 北京西城区百万庄大街 24 号 邮政编码 100037

网址: <http://www.flp.com.cn>

电话: (010) 68320579 / 68996067 (总编室)

(010) 68995844 / 68995852 (发行部)

(010) 68327750 / 68996164 (版权部)

印 制: 北京海德伟业印务有限公司

经 销: 新华书店 / 外文书店

开 本: 787×1092mm 1/16

印 张: 20

字 数: 426 千字

装 别: 平

版 次: 2010 年第 1 版 2010 年 7 月第 1 版第 1 次印刷

书 号: ISBN 978-7-119-06346-1

定 价: 32.00 元

建议上架: 外语

版权所有 侵权必究 如有印装问题本社负责调换 (电话: 68995852)

前言



日本语能力测试(JLPT)是由日本国际交流基金会和日本国际教育协会为全世界的日语学习者设置的一项国际性日语水平考试,参加考试的人数从 1984 年的 7000 人左右增加到 2008 年的 56 万人,是世界上规模最大的日本语考试。

从 2010 年起,日本语能力测试的题型以及考查重点发生了重大变化,考试级别也由原来的四个变为五个:N1(稍高于原来的一级水平),N2(相当于原来的二级水平),N3(相当于原来的二级和三级之间的水平),N4(相当于原来的三级水平),N5(相当于原来的四级水平)。其中,N2 的考试题型由原来的“文字·词汇”“听解”“读解·文法”三部分变为“语言知识(文字·词汇·文法)·读解”和“听解”两部分,考试时长为“语言知识·读解”105 分钟,“听解”50 分钟。分值比例为“语言知识”“读解”“听解”各占 60 分,总分 180 分。考试仍然延续选择题的形式,暂不加入口语和书写方面的考试形式。

为了配合这次日本语能力测试的重大改革,我们潜心研究新考试大纲,准确把握改革动向。同时,结合对 1991~2009 年历年真题进行的数理分析,就日本语能力测试中读解部分的出题规律进行了总结,按内容及考查点分成 10 大章、40 小节,并同时归纳出考点、文中关键词和关键文法,力求使考生不但能掌握备考时的学习重点,而且还能学到应试技巧。

与同类型的其他图书相比,本书具有以下特点:

- (1)具有建立在科学而系统的数理统计分析基础之上的读解出题规律分析;
- (2)分门别类地收录了 1991~2009 年度(共 19 年)的读解试题;
- (3)根据新考试大纲进行大胆预测,加入新题型预测题;
- (4)依据出题概率和所属级别的统计结果,将练习材料分类排序,方便读者有针对性地学习;
- (5)运用定量与定性相结合的应试技巧分析,涉及内容广泛,启发考生的学习思路。
- (6)另外随书附赠《N2 读解考点词汇、文法分频分类记忆手册》,以加强读者的综合备考能力。

在本书的编写过程中,参考了国内外的相关书籍,在此一并向各位编者、译者表示感谢。同时,特别鸣谢大连市日本语教师协会所给予的大力协助。

由于编纂工作浩繁,失误在所难免,望广大读者、同仁不吝指正,共同进步。

编 者

目录



第1章 社会生活	1
第1节 日常生活	1
第2节 待人处世	36
第3节 教育问题	62
第4节 人生态度	80
第5节 语言问题	95
第6节 生活体验	104
第7节 文化传统	109
第8节 雇佣与就业	114
第9节 环境保护	121
第10节 学习问题	124
第11节 税金问题	127
第12节 医疗健康	129
第13节 思考方式	131
第14节 生活水平	134
第15节 兴趣爱好	136
第16节 交通问题	137
第17节 女性社会问题	139
第18节 职业能力	142
第19节 老年人的护理	143
答案	144
第2章 科普知识	149
第1节 生命与健康知识	149
第2节 动物知识	159
第3节 地理与天文	167
第4节 关于时间	171
第5节 物品介绍	174
第6节 植物知识	177
第7节 心理知识	179
第8节 家居知识	182
答案	183

第3章 公司与商务	185
第1节 营业业务	185
第2节 公司内人际关系	189
第3节 经营方法	191
第4节 工作环境	193
第5节 商务信函	194
答案	195
第4章 地理与环境	196
第1节 资源问题	196
第2节 生态问题	200
第3节 城市化问题	202
第4节 地理知识	204
答案	205
第5章 经济问题	206
第1节 经济资源	206
第2节 消费观念	209
答案	211
第6章 现代科技	212
第1节 尖端技术	212
第2节 尖端产品	215
答案	216
第7章 综合理解	217
答案	232
第8章 主张理解	233
答案	242
第9章 信息检索	243
答案	251
第10章 内容理解	252
答案	266



第1章 社会生活



第1节 日常生活

(1)

子どもを持ったことのある人なら、三歳の子どもの電話に興味を持つことをご存じだと思う。会話がとてもおもしろい時期である。話しかければ返事をしてくれる電話に夢中にならないはずがない。言葉の発達と共に、うちの電話機は子どものおもちゃとなっていた。

初めのうちは、ジジババ(注1)からの電話の途中で少し話をして喜んでいるだけであったが、そのうち掛かってくる電話にも①出たがるようになった。(中略)

次に彼は、番号を押して自分で電話を掛けることに興味を覚えたようである。ジジババの家と、うちの子と話をするのを楽しみにしてくれる叔母にかぎって掛けさせることにして、この二軒の電話番号を#01と#02の短縮番号にして(注2)あげた。彼はほとんど毎日②どちらかに電話をした。

「ぼくのなまえはあおきいくまです」「四さいになったらおおさわうちえんにいくんだよ」とか、「きょうねおにくとおやさいいっぱいたべたの。あとね、えーとね…」

などなど、彼のおしゃべりにつき合っている叔母もたいへんだなと横で聞いていて思いつつ、③好きにさせておいた。

「またおでんわしてねっていった」「ごはんをいっぱいたべてねっていったよ」「おばさんはひとりですんでいてさびしいんだって。ぼくとおはなしするのがたのしみだって。ぼくにあいたいって」

久しぶりに叔母に会う機会があった。

「いつも子どもが長々と電話してすみません」

「あーらやだ(注3)。何言ってんのよ、ちっとも電話してくんない(注4)じゃない。④子どもは元気?」彼は毎日この叔母と電話で話をしていたのではなかったか。その夜、#02に電話してみた。見知らぬ人(注5)が電話を取った。

「あなたがお父様ですか。いつもお坊ちゃまからかわいいお電話をいただいております。いつかご挨拶をと

思っておりましたが、遅くなって申しわけございません。私は、××と申すものです。いつもこの時間になるとお電話がこないかと心待ちにしております。最近それはもう毎日のようにお電話をくださいますので一日電話がこないと風邪でもひいたのではないかと、もしや⑤事故にでもあったんじゃないかとかやきもきして(注6)しまうのですよ。今まで眠れない日がおおごしました(注7)のに、電話の向こうでバイバイって言ってくれた日はぐっすりと眠れるようになりました。

主人をおとしガン(注8)で亡くしがっくりきて(注9)いたところに、頼みだった息子夫婦も半年前に交通事故で亡くなりましてね、⑥孫も一緒だったんです。生きていればもうじき四歳になるはずでした。幼稚園もきまっていたのにねえ。そんな時にお宅のお坊ちゃまからお電話をいただきまして、初めは死んだはずの孫からかと思いました。一回だけの⑦幸運な間違い電話のつもりでいたら何度もくるようになりまして、最初は、たどたどしかった(注10)のに今ではもう立派にお話もできるようになって…。もしご迷惑でありませんでしたら、時々はお坊ちゃまのお声をお聞かせ願えませんか」

こんな話を聞いてしまったらいやとは言えないだろう。叔母の家の電話番号を短縮番号に入力する時のミスだったようだ。新たに本当の叔母の番号を#03に入れた。そして彼は今でも#02に電話をしているようである。

(注1) ジジババ:おじいさんとおばあさん

(注2) 短縮番号にする:簡単にかけられるように電話番号を短い数字にして電話機にセットする

(注3) あーらやだ:少しおどろいた時に使う女性の言い方

(注4) 電話してくんない:電話してくれない

(注5) 見知らぬ人:ぜんぜん知らない人

(注6) やきもきする:心配する

(注7) おおごしました:「多かった」のていねいな言い方

(注8) ガン:病気の名前

(注9) がっくりくる:急に元気がなくなる

(注10) たどたどしい:話し方がおさないようす

【問1】 ①「出たがるようになった」とあるが、何をしたがるようになったのか。

1 電話での大人の会話に自分も参加すること

- 2 電話番号を押して、自分から電話をかけること
- 3 大人が電話で話している間、外に遊びに行くこと
- 4 相手とつながっていない電話をおもちゃにして遊ぶこと

【問2】 ②「どちらかに電話をした」とあるが、筆者(親)は子どもがだれと話していると思っていたか。

- 1 おばさんが見知らぬ人
- 2 おじいさんかおばあさん
- 3 おじいさんかおばあさんかおばさん
- 4 おじいさんかおばあさんか見知らぬ人

【問3】 ③「好きにさせておいた」とあるが、だれがだれに何をさせておいたのか。

- 1 母が子どもを友達と遊ばせておいた。
- 2 叔母が子どもに電話で話させておいた。
- 3 親が子どもに電話をかけさせておいた。
- 4 ジジババが子どもを自由にさせておいた。

【問4】 ④「子どもは元気?」とあるが、なぜこのように言ったのか。

- 1 子どもから全然電話がかかってこないから
- 2 親とはよく会うが、子どもとは全然会わないから
- 3 子どもからときどきしか電話がかかってこないから
- 4 親とはよく会うが、子どもとはときどきしか会わないから

【問5】 ⑤「事故にでもあったんじゃないか」とあるが、この人は、だれが事故にあったと考えたのか。

- 1 この人の孫
- 2 この人の息子夫婦
- 3 電話をかける子どもの親
- 4 電話をかけてくる子ども

【問6】 ⑥「孫も一緒だった」とあるが、どういう意味か。

- 1 主人と同じ病気で亡くなった。
- 2 ともだちと同じ幼稚園に入った。
- 3 おばあさんと一緒に電話で話した。
- 4 息子夫婦と一緒に交通事故にあった。

【問7】 ⑦「幸運な間違い電話」とあるが、なぜ「幸運」なのか。

- 1 めったにかかったこないから
- 2 孫のような子どもの声が聞けたから
- 3 ちょうど待っていた電話だったから
- 4 自分から電話をかけなくてもいいから

(2)

私たちの時間の感覚は、人によって、立場によってかなり違います。電話でよく「少々お待ちください」と言って待たされます。3分待たされたとしますと、待った人の感覚ではその3倍、9分ぐらい待たされた気がします。この時、待たせた方は実際が3分でも、その3分の1の1分ぐらいにしか感じないのです。つまり待たせた人と待たされた人の時間感覚の差は(①)倍にもなるのです。そのことをよく承知したうえで「お待たせいたしました」を言わないと、②お客さまを不快(注1)にさせることになります。

本来、時間に対する日本人の感覚は、きわめて(注2)神経質(注3)だと言われます。交通機関(注4)のダイヤの正確さなどにもそれがよく表れています。

ところが、その反面、日本語の中にはきわめて曖昧に時間を伝えることばが数多くあります。「しばらくお待ちください」「のちほどお電話さしあげます」「まもなく着くと思います」「少々時間をください」などの言い方は日常的によく使われています。

応対の中で③「のちほどこちらからお電話さしあげます」と言った数人の人に、「『のちほど』というのは何分ぐらいの時に使いますか?」と尋ねたことがあります。驚いたことに答えは千差万別(注5)です。2、3分、10分、15分、30分ぐらい、1時間、2、3時間、その日のうち、最大1週間以内と答えた人もいます。そして、「のちほど」と言われた相手の客も「のちほどって何分後ですか」と聞き返す人は皆無(注6)に近いのです。「ではよろしくお願いします」で終わってしまいます。客の方が「のちほど」を何分ぐらいと理解したかです。言った方に④それだけ幅があるのですから…。

「のちほど電話すると言ったから、出かけないで待ってるのにかかってこないじゃないか」と苦情になったこともあります。

きちんと時間のメド(注7)を言う人も、もちろんいます。⑤時間のメドが立たない時に、「のちほど」というあいまいで便利なことばを使うのでしょうか。しかし、メドが立たない場合でも、「担当がただ今席を外して(注8)おりますので、何分後というはっきりしたお約束が出来がねます。申し訳ございません」と、はっきり言えない

理由をことばで伝えてください。

また、メドが立つ場合でも、10 分後と思っただけ「20 分後ぐらいまでにはお返事出来ると思います」。30 分後と思ったら「1 時間以内には…」というように、⑥多め多めの時間を伝えてください。人間の心理として、「30 分後」と言われても20 分後ぐらいから待ち始めます。25 分も経つとイライラが始まります。30 分後に正確に返事が出来たとしても、あまり満足感はないのです。それが「1 時間以内には」と伝えておけば、30 分後に返事がくれば「早く調べてくれたな」と思って満足してくれるものです。

(岡部達昭『心くばりの話しことば』による)

(注 1) 不快:いやな気持ち

(注 2) きわめて:とても

(注 3) 神経質:こまかいことまで心配する性質

(注 4) 交通機関のダイヤ:バスや電車などの出発・到着時刻

(注 5) 千差万別:種類が多く、違いもいろいろあること

(注 6) 皆無:まったくないこと

(注 7) メド:だいたいの見当

(注 8) 席を外す:自分の席を離れる

【問 1】 (①)に入る数字はどれか。

1 3

2 6

3 8

4 9

【問 2】 ②「お客さまを不快にさせる」とあるが、待たせた人がどんな時にそうなるのか。

- 1 待たせた相手が大事なお客さまであることを知らされていない時
- 2 相手が実際よりも長く待っていると感じていることがわからない時
- 3 相手が電話をかけてきたのだから少しぐらい待たせても問題ないと思った時
- 4 どんなに待たせても「お待たせいたしました」と言えればいいと思っている時

【問3】 ③「のちほどこちらからお電話さしあげます」とあるが、そう言われた客は、たいてい何をすると考えられるか。

- 1 どのくらい待つのか確かめてから電話を切る。
- 2 一度電話を切って、しばらくしてからかけ直す。
- 3 電話を切って、相手からかかってくる電話を待つ。
- 4 「このまま待ちます」と言って、電話を切らずに待つ。

【問4】 ④「それだけ幅がある」とあるが、具体的にはどれだけの幅のことを言っているか。

- 1 普通1時間以内
- 2 平均すると1日
- 3 ほとんどの場合1週間
- 4 2、3分から最大1週間まで

【問5】 筆者は読者に⑤「時間のメドが立たない時」はどうしたらいいと言っているか。

- 1 あいまいなことばを使わないで、相手に何分待てるか聞いたほうがいい。
- 2 あいまいなことばを使わないで、正確な時間が言えない理由を伝えるといい
- 3 あいまいで便利なことばを使えば、相手にはっきり時間を伝えなくてもいい。
- 4 あいまいなことばは便利なので使ってもいいが、その前に相手に謝ったほうがいい。

【問6】 筆者はなぜ⑥「多め多めの時間」を使えるのがいいと言っているか。

- 1 「1時間以内には」と伝えて30分後に返事がくれば、相手は満足してくれるものだから
- 2 「30分後」と伝えても、相手はそんなに短い時間で返事が出来るとは思っていないから
- 3 「1時間以内には」と伝えておけば、相手は2時間まではイライラせずに待ってくれるから
- 4 「30分後」と伝えて、30分後にきちんと正確に返事が出来るというのは、あまりないことだから

【問7】 この文章で筆者が最も言いたいことはどれか。

- 1 待たせる人は待たされる人の気持ちになってことばを決めなくてはいけない。
- 2 あいまいに時間を伝えることばは、時間に正確な日本人の時間感覚に合わない。
- 3 相手に満足感を与えるには、できるだけ正確な時間を伝えて待ってもらうといい。
- 4 人によって時間感覚の差は大きいので、お互いに待つ時間を確認する必要がある。

(3)

^{ろっぽんぎ}
六本木(注1)を歩いていた。夜のことだった。

私は、デート(注2)をしていたのだった。お食事をしたあと、私たちはブラブラ(注3)と人通りの多い道を歩いていた。そんな六本木も、一寸(ちょっと)した裏通りに入ると、急に人が少なくなって静かになる。そのとき、私は、道路に置いてあるポリバケツ(注4)に、頭をつっこんでいる小さいペンギン(注5)を見た。

「あら、ペンギン!」

私は、それまで、多少、静かな調子で話していたのに、びっくりしたので、思わず叫んでしまった。

「なんて珍しいの? 六本木にペンギンがいて、ポリバケツをのぞいているなんて!」

一緒に歩いていた男の人は、私をチラリ(注6)と見ると、静かに、こういった。

「あれは、確かにペンギンに見えます。でも、こんな六本木の交叉点の近くに、ペンギンがいると思いますか?」

そういわれて、よく見ると、それは、全くペンギンと同じ色わけの、猫だった。私たちの話し声を聞いて、ペンギンが頭をあげたら、耳やヒゲが見えたので、私にも、それは、ペンギンじゃないと、わかったのだった。① がっかりしてる私に、デートの相手の男の人は、いった。

「驚くときは、やっぱり、よく見てから驚くようにしたほうがいいね。人さわがせになるからね」

② いま考えれば、それは親切な忠告(注7)だった。

でも私は「だって、ペンギンとしか見えなかったんだもん!」と、気を悪くしていた。だから、③ 私は反撥(注8)して、こういった。

「じゃ、こういえば良かったの? “あら、あそこのポリバケツに頭をつっこんでいるものは、まるでペンギンのように見えますが、この辺りにペンギンがいるはずがないんだから、よく見てみましょう。見たら猫ですけど、ペンギンと同じの、黒と白の色わけの猫なんで、わあ、おどろいた!” って?」

その人とは、④ そのままになってしまった。

(黒柳徹子「トットの欠落貼」による)

(注1) ^{ろっぽんぎ}
六本木: 東京にあるにぎやかな街

(注2) デイト: デート

(注3) ブラブラと: 特に目的もなくのんびりと

(注4) ポリバケツ: プラスチックのバケツ

- (注5) ペンギン:南極などにいる、黒と白の飛べない鳥
- (注6) チラリと見る:ちょっと見る
- (注7) 忠告:ここでは、注意
- (注8) 反撥して(普通「反発して」と書く):おとなしく従わないで反抗して

【問1】 ①「がっかりしてる」とあるが、どうしてそう感じたのか。

- 1 ペンギンではないとわかったから
- 2 デートをしている男性に言われたから
- 3 男性を驚かせてしまったから
- 4 猫をペンギンと言ってしまったから

【問2】 ②「いま考えれば、それは親切な忠告だった」とあるが、何が「親切」だったと思うのか。

- 1 男性がペンギンではなく猫だと教えてくれようとしたこと
- 2 男性が私の欠点をなおしてくれようとしたこと
- 3 男性が私にわかるようにやさしく言ってくれたこと
- 4 男性がていねいに礼儀正しく言ってくれたこと

【問3】 ③「私は反撥して」とあるが、何に対して反発したのか。

- 1 男性の間違い
- 2 男性の言葉
- 3 自分の間違い
- 4 自分の言葉

【問4】 ④「そのままになってしまった」とは、どういうことか。

- 1 その男性に反発しなくなった。
- 2 その男性から忠告をされることがなくなった。
- 3 その男性とペンギンの話はなくなった。
- 4 その男性とはもう会わなくなった。

(4)

あれはいつのころだったか、まだ、数学などに凝って(注1)いたときだ。ぼくは、友人と競争で、ある問題を解

いていた。それが解けたときはほんとうに嬉しかった。それで、すぐに友人に電話した。

「おい、やった、解けたぞ!」

ぼくは、ほとんど、叫んでいた。

だが、相手はねむそうにいう。

「なにが、解けただ。いま何時だと思っているんだ。午前2時だぞ!」

怒った声だった。

それを聞いて、①しまったと思った。確かに、ひどい時間に電話をかけたものだ。

「たとえ、友人だとはいえ(注2)、午前2時に電話をかけるのは、少し非常識だったな。あやまる。ごめん!」

ぼくはすぐあやまった。すると、相手はいった。

「おまえのバカな友人になら、何時に電話をしようと勝手だ。おれ(注3)のいいたいのは、(②)ということだ」

そして、ガチャン。そういえば、相手の声は友人の③それではなかった。

(なだいなだ『こころのかたち』による)

(注1) 凝る:熱中する

(注2) ~とはいえ:~といっても

(注3) おれ:「私」の意味(男性が使うことが多い)

【問1】 ①「しまった」とあるが、筆者は自分のどんな行動に対してそう思ったのか。

- 1 問題がまだ解けていない友人の気持ちを考えずに電話をした。
- 2 自分から電話をかけたのに、初めに名前を言わなかった。
- 3 午前2時という非常識な時間に友人に電話をした。
- 4 問題が解けた嬉しさのあまり、電話で叫んだ。

【問2】 (②)に入る最も適当なものはどれか。

- 1 電話番号はまちがえないようにかけろ
- 2 そんなことで深夜に電話をかけるな
- 3 相手のことを考えて電話をかけろ
- 4 自分の名前を伝えてから話せ

【問3】 ③「それ」とは何を指すか。

- 1 電話番号

2 話し方

3 常識

4 声

(5)

アンさんの日記

7月17日(日)晴れ

あと1週間で試験が始まる。今日から頑張って試験勉強をしようと思ったが、いい天気だったので午前中は公園まで散歩に行った。公園は犬を連れた人や家族連れが多くて、にぎやかだった。最近忙しくて、学校とアパートを往復するだけだったので、運動不足の感じ。30分ほど軽く走る。とても暑くて汗をかいたが、久しぶりの運動は気持ちがいい。

スーパーでお弁当を買って、アパートへ帰り、昼ご飯。午後から勉強しようと思ったが、つい寝てしまい、あまりできずに夕方になってしまった。

試験が終わって、レポートを出せば夏休みだ。今年も北海道を旅する予定。旅行の準備はほとんど終わっている。早く行きたいなあ。

7月18日(月)晴れ

試験が近いせいか図書館は学生でいっぱいだった。同じクラスの学生も何人か来ていた。レポートのための本を借りたかったのだが、みんな同じような本を探しているようで、あまり本がない。結局、1冊も借りられずにアパートに帰った。困った。明日、先生に相談してみよう。

7月19日(火)曇り

曇っていたが暑かった。東京は暑いだけでなく、蒸し暑いから嫌だ。早く北海道に行きたい。

午後、レポートのことで先生に相談したら、それはできないと断られ、締め切りは守るようにと言われた。もっと早くレポートの準備をすればよかったというのはわかっているのだが、なかなか難しい。アルバイトをしているわけでもクラブ活動が忙しいわけでもないのだが、毎日時間が本当に早く過ぎていく。先生が宿題を出しすぎるんだ。早く夏休みにならないかなあ。

【問1】 7月17日の日記の内容に合っているものはどれか。

- 1 運動しようと思って公園へ行ったが、人が多くて何もできなかった。
- 2 頑張って試験勉強をするつもりだったが、思ったほどできなかった。
- 3 運動不足なので走ろうと思ったが、とても暑くて走れなかった。
- 4 お弁当を買ってアパートへ帰ったが、食べないで寝てしまった。

【問2】 「先生に相談してみよう」とあるが、次の日アンさんは先生に何と言ったと考えられるか。

- 1 「レポートに必要な本が図書館になかったの、レポート提出の日を延ばしていただけますか」
- 2 「図書館は学生がいっぱいでレポートが書けないので、先生の部屋を使わせていただけますか」
- 3 「レポートに必要な本は全部貸し出されていたので、テーマを変えさせていただきますか」
- 4 「レポートに必要な本が見つからなかったの、先生の本を貸していただけますか」

【問3】 この日記にはアンさんのどんな気持ちが表れているか。その気持ちを表すものとして最も適当なものはどれか。

- 1 学校もアルバイトも忙しくないのに、時間はどんどん過ぎていく。不思議だなあ。
- 2 北海道旅行は楽しみだが、その前の試験勉強やレポートが進まない。困ったなあ。
- 3 試験勉強やレポートで忙しくて、北海道旅行の準備がなかなかできない。大変だ。
- 4 トが提出できそうにないから、北海道旅行はあきらめよう。残念だ。

(6)

徹子から電話がありました。今から5、6年前のことです。

「ねえ、ママ、千葉へ行ってきたの」

電話の声が弾んでいます(注1)。きっと何かおもしろいことがあったんだろうと思い、私も「そうだったの」と相槌を打ちながら(注2)、彼女の次の言葉をワクワクしながら(注3)待っています。

「窓から太陽の沈む様子が、この世のものとは思えないほど美しいと評判の旅館があつてね。それを見に、10人ぐらいの有志(注4)で出かけたわけ」

ちょっとひと呼吸おいてから、また話しはじめました。

「昼間の間は散歩したり、みんなで楽しく遊んでね、そろそろ時間になったわけ。①さあ、時間だ! というので、みんなで窓のそばに座り、固唾をのんで(注5)待ってたの。『ホラ、沈むわよ』『ウワーッ、すごい』『この偉大な夕日にかなう(注6)ものはこの世には何もない』なんて口々に言いながら、あまりの素晴らしさに胸打たれ